

担任はいいもんだ！

・初めての担任（平成8年4月～平成11年3月）

私、早生まれなので 23 歳で初めての担任。某工業高校の男ばかりの電気科の中に女子 1 名というクラスでした。明るく楽しく落ち着きのあるクラスで、彼らが 30 歳になったときにクラス会を開いてくれて、その時の再会が非常に嬉しかった記憶があります。

・2回目の担任（平成12年4月～平成15年3月）

転職した初日に初めて担任を持つことを知りました。このときの校長のことは今でも恨んでいます。当時は悪名高き大変な学校だったので、担任希望がなかった。だから当日まで教えなかったんでしょね。そして案の定、生徒指導・教科指導に苦勞しました。ただ、教員の一致団結感は半端なく良く、周りのサポートのおかげで無事に卒業させることができました。

・3回目の担任（平成15年4月～平成17年3月）

卒業させたばかりなのに、「2 年担任をもって欲しい」との打診が。そのクラスは学級崩壊状態でした。そんなクラスを任されるのは、ある意味教師として評価されたからなのであろうと。かなり苦勞しましたが、最終的には非常にいいクラスになり、卒業式では生徒がみんな泣いてました。そして人は口々に「伏見先生じゃなきゃできなかったね!」と。この言葉、ホント駄目ですよ。私、この言葉かけられると、、、喜んじゃいます。はい。

・4回目の担任（平成18年4月～平成21年3月）

転職してすぐに、高校の同級生と担任を持つことになりました。この学校も教員間の一致団結感が半端なく、徐々に学校自体も落ち着き、苦勞しながらも充実した生活を送ることができました。

・5回目の担任（平成22年4月～平成25年3月）

このときの担任は震災を経験してしまった学年です。私は学年主任だったので、ピンチはチャンス!ということで、町のボランティアセンターに出向き、生徒達に様々なボランティアを経験させました。津波で詰まってしまった側溝の泥かき、仮設住宅での様々な作業、津波で汚れた写真の洗浄作業、保育所での手伝い等々。おかげであちこちから褒められて、生徒もやりがいを見いだしていました。そして、町の人達に祝福されながら「旅立ちの日に」を合唱し、涙の卒業式を終えることができました。

・6回目の担任（平成28年4月～平成31年3月）

相馬高校に来て 2 年目に担任を持つことになりました。2 年の時の馬陵祭ではクラス企画の大賞を取るなど、かなり勢いのあるクラスでした。心残りは、3 年の 11 月にステージから転落し、肩を骨折してしまい、1ヶ月近く入院してしまったこと。受験の大事な時期に穴を空けてしまったことは大いに反省であります。

・7回目の担任（令和2年4月～令和5年3月）←今がこれです!!

慢性腎不全になってからの担任。放課後に通院しなければならない状況で担任をもっていいのだろうか、不安でした。しかし、周りがサポートしてくれるということでやらせてもらいました。1 年次は大関先生、2 年次は裕佳里先生、3 年次は中川先生という強力な副担任と西山先生、星先生、鷗川先生のサポート、多くの先生方や生徒達の理解と協力で無事にここまで来ることができました。前回は骨折をしてしまったので、今回は何事もなく、、、と思ったら、共通テスト後にコロナ陽性。自宅学習前に生徒に会えずという、なんとも不幸なエンディングを迎えることになりました。

今年で教員生活 28 年を迎えました。若いときは勢いでやれたことが、年を取るに従って無理が利かなくなってきました。高校教員は 15 ～ 18 歳の多感な時期の生徒たちを相手にするのはパワーが必要です。そして、教員には世間で言われているようなブラック的なこともあります。しかし教員という仕事、特に担任の仕事はそれを帳消しにするくらいのやりがいがあります。生徒が 3 年間で大きく成長する姿を間近で見られるのは、担任冥利に尽きますね。ただ、地元で教員をやることで、小中高の同級生が保護者に多数いるのは、とても気恥ずかしいです。っつか、俺みたいなのが教員やっついでごめんさい。もっと真面目な学生時代を送っておけば良かったとつくづく思います。

3 組の清水ミチコカレンダーに「担任は選べない」という言葉がありますが、生徒は担任を選べないし、担任は生徒を選べません。だからこそ一期一会、出会いを大切にしていきたいですね。そして、多くの生徒が教員を目指し、地域貢献の一助を担って欲しいなと思います。

生徒の皆さん、保護者の皆さん、本当に 3 年間共に頑張りましたね。お疲れ様でした。でも、まだまだ終わらんよ！人生これからが本番です!!

副担任の先生方から最後のメッセージ

1組 武内義明先生

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。学び舎を離れて、「コロナ世代」と呼ばれながら踏み出す第一歩ですね。そんなに怖がることはありません。遠くの目標を見定めながら、足元の一步を慎重に進めることですね。相馬高校は踏み台です。しっかり踏みつけて次のステップに向かってください。君たちの母校は踏みつけてもびくともしない土台です。

君たちの栄光は現在ではなく、未来に存在します。さあ、しっかりと足に力をこめなさい。

2組 湯澤敏洋先生

卒業おめでとうございます。この3年間で短い期間と感じた人もいれば長い期間と感じた人もいることでしょう。確かなことはこの3年間で経験したことはこれからの人生において一生色褪せることのない宝物であるということです。楽しかった記憶は回顧するたびに笑顔をもたらし、辛かった記憶も困難を乗り越えるための原動力として役立つことでしょう。これからの皆さんの人生が幸多きものとなることを祈っています。

3組 中川こずえ先生

巣立ちの時だね。これからはより多くの幸せを感じる人生であってほしい。そのためのコツは、「人生あきらめが肝心」ってこと。あきらめるってのは聞こえは悪いが、許容して肯定すること。状況を正しく分析して、努力すれば届きそうな課題や目標や夢を掲げて、それらを日々アップデートしていくんだ。そして自分のペースでコツコツ努力を続けていこう。他人に優しく、自分に優しく。自然にも地球にも優しくSDGsで。何があってもドンマイだから、それぞれが笑顔いっぱいの人生を歩んでほしい。これが本音...甘過ぎかい(笑)!

4組 馬場藍先生

卒業おめでとうございます!

高校3年間はどうでしたか。これからも色々なことに挑戦をして、自分の世界を広げて行って欲しいと思います。自分が知らないこと・興味がないなど思っていることにも、ちょっと目を向けてみてください。そこからの出会いが自分に大きな影響を与えてくれるかもしれません。これからの人生をたっぷり楽しんで!!



明日の卒業式はみんなが主役です。笑顔で迎えよう!!

男子はベルト着用、黒靴下 女子は黒タイツか黒のハイソックス(くるぶし丈は×)
上履きは体育館シューズです。忘れずにいてください!!!

皆さんの門出です。いい卒業式にしようね。